

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		高知龍馬マラソン開催事業費補助金			
所管部局	教育委員会	部局長名	松原 和廣	予算事業名	高知龍馬マラソン開催事業費補助金
所管部署	スポーツ振興課	所属長名	横田 修明	予算事業科目(平成25年度)	011008010299

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	03 育みの環
政策	16 いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり
施策	50 生涯スポーツの推進

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	スポーツ基本法第2条	法定受託事務	市民が身近にスポーツを位置付けられる地域社会の実現をめざして、生涯スポーツ活動の拠点となる地区体育会や総合型地域スポーツクラブに誰もが参加しやすい環境を整備するなど、「する」スポーツの振興に取り組みます。 また、トップアスリートの競技に触れる機会を提供するなど「みる」スポーツを充実するとともに、指導者やスポーツボランティアの養成・確保、スポーツ施設の充実など、「ささえる」スポーツを推進します。
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他(計画、覚書等)	高知龍馬マラソン実行委員会会則		
施策取組方針			

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	全国のマラソン愛好家	
意図	どのような状態にしていくのか	県外からの観光客誘致と県民の生涯スポーツ推進を図る。	
手段	事業実施体制等	高知県・高知市・南国市・民間が協力して実施。高知県教育委員会事務局スポーツ健康教育課内に「高知龍馬マラソン実行委員会事務局」を設置し大会運営を行う。	
		事業開始年度 平成24年度 事業終了年度 -	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	関係団体及び関係機関等と連携し、本県最大規模の市民参加型フルマラソンとして「高知龍馬マラソン」を実施する。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	参加人数(人)	マラソン参加人数
	B		
	C		

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	参加人数(人)	目標		3,500	5,000		
			実績		3,475			
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)			10,000	10,000	その他については、マラソン当日の市職員動員数及びそれに対する人件費 ※人件費は管理職を除く職員平均単価(休日)に業務時間を掛けたもの	
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	0	0	10,000		10,000
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	0	5,198	5,200		
		正規職員(千円)	0	0	2,960	2,960		
		その他(千円)			2,238	2,240		
		人役数(人)			149.40	150.40		
		正規職員(人)			0.40	0.40		
		その他(人)			149.00	150.00		
	総コスト=①+②(千円)		0	0	15,198	15,200		
市民1人当たりコスト(円)		0	0	45				
年度末住民基本台帳人数(人)		339,130	337,875	338,397				
						総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

約3,500人の参加者（受付総数3,572人、完走者数3,292人）のうち、6割（2,100人）を超える参加者が県外からの参加であり、スポーツツーリズムの推進に貢献した。
 全国45都道府県からの参加があり、完走率94.7%で、途切れることのない沿道での声援やおもてなしの心など、県民の支えと参加者の熱い思いで成功した。
 体育会、青少協、自治会などのボランティアを含め、約2,300人のスタッフが大会運営に参加し、大きな事故もなく実施することができた。今後は、一般公募によりボランティアを募ることも必要である。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	B	4.0	本事業は、生涯スポーツの普及・振興と県民の基礎体力の向上、健康維持を目的としており、本市総合計画に掲げる「生涯スポーツの推進」の趣旨に合致している。 また、スポーツツーリズムの推進に貢献することにより、市民に対するニーズも向上し、「するスポーツ・みるスポーツ・ささえるスポーツ」の振興にも合致していると思われる。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	県外の参加者のほとんどが、前・後泊であると考えられ、県内の観光産業にも大いに貢献しているものと思われる。 また、市民によるボランティアでの参加、自治体による運営主体、マスコミ等の民間企業による報道等官民一体の事業である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0	歴史のある競技マラソンから全国的にランニング人口が増加しており、市民マラソン大会が全国各地で開催され空前の人気となっている。 県外から多くの市民ランナーが参加することで、地域活性化の起爆剤となっている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	4.0	県外参加者が2,100人を超え、全体の6割を超えており、全国45都道府県よりの参加を得て、県内参加者の多大な刺激になっている。 市の財政には直接反映しないが、高知市及び周辺の宿泊施設など、地元への経済波及効果大きい。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合点	15.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) ○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ B 経費削減に努め事業継続	第1回大会の開催であり、実行委員会及び事務局にとっては試行錯誤の上の実施であったと思われるが、県民の支えと参加者の熱い思い、さらには当日の天候にも助けられおおむね成功裏の上終了した。今後は、参加数を少し拡大の上、継続していく。

8 特記事項

--